

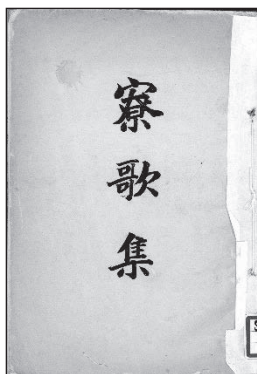
りょうかしゅう

#32 寮歌集

編輯：安江豊太郎（やすえ・とよたろう 生没年不詳）

第一高等學校（だいいちこうとうがっこう）

刊行：昭和7年（1932）



※左より、『寮歌集』（第一高等學校）、『寮歌集』（第三高等學校自由寮）

♪ 解題

■ 内容

『寮歌集』（第一高等學校）は、現在の東京大学教養学部及び千葉大学の医学部・薬学部の前身となった旧制高等学校の寮で歌われた寮歌を収録した冊子である。初版は明治37年（1904）に出版され、毎年開催される記念祭の度に収録曲が追加され、改版が重ねられた。当館所蔵の寮歌集は、昭和7年（1932）発行の第24版である。

本書は明治37年の序、大正13年（1924）の序、例言、目次、238曲の寮歌、附録の部歌等の24曲からなる。例言には「曲譜の出所を記せざるものは多く寄宿寮生の自作に係る。」とあり、作歌・作曲共に作者名の記載がないものが多い。曲名は付けられておらず、それぞれの曲の上部には「第〇回記念祭寮歌」、その右に明らかな場合は作者名、左下には（〇年）と寮名の

記載がある。歌いだしの歌詞により目次が作成されている。

楽譜は数字譜で表され、歌詞は主に七五の漢文読み下し調であり、理想や自治と寮生活について歌われている。

国立国会図書館サーチによると、一番古いものから 1904 年発行が名古屋市鶴舞中央図書館をはじめ、いくつかの図書館で所蔵が確認できる。なお、1935 年の改訂増補第 1 版については、国立国会図書館の図書館向けデジタル化資料送信サービスで閲覧することができる。

■ 第一高等学校

第一高等学校の前身は、明治 7 年に創立された東京英語学校である。明治 10 年に東京大学予備門、19 年に第一高等中学校、27 年に第一高等学校と改称した。明治 23 年からは、寄宿寮の東西南北の 4 寮が竣工し、自治制が許可された。それ以降、明治 33 年に中、明治 38 年に朶、大正 8 年（1919）に和、大正 9 年に明と新寮が開かれていった。その後、昭和 24 年（1949）に東京大学教養学部が新設され、第一高等学校は翌 25 年に閉校した。

編者の安江豊太郎は第一高等学校嘱託を経て、明治 27 年に山口高等学校講師、同 41 年に助教授となり『一高寮歌集』を編んだ。

♪ 類似の唱歌集

- ・『寮歌集』第三高等学校自由寮 1935 [SH767.6/82]

♪ 参考文献

- ・『写真図説 嗚呼玉杯に花うけて：第一高等学校八十年史』講談社 1972 [376.7/2]
- ・『旧制高等学校研究 校風・寮歌論編』高橋佐門著 昭和出版 1978 [376.7/6]
- ・『寮歌の時代』穂積重行著 時事通信社 1991 [767.6/252]
- ・『西田幾多郎全集 第 17 巻 新版』西田幾多郎著 岩波書店 2005 [121.63/9/17]